



やわらぎ会通信 Vol.40

今年の十五夜のお月見は28日です。(通信が届いていけばよいのですが...) 昔から人は月を愛でる風習があったようです。十五夜を過ぎると十六夜(イザヨイ)=ためらうように出てくる⇒十七夜(立待月・タチマチヅキ)立ったまま待つ⇒十八夜(居待月・イマチヅキ)すわって待つ⇒十九夜(寝待月・ネマチヅキ)月の出る時刻が遅いので寝て待つ...

というふうには、月の出るのを待っていたのですね。しかもだんだんと欠けていく月の姿をどんな気持ちで見えていたのでしょうか。

この時期は台風がよく来るので見られないことも多いのですが、今年、まん丸お月様見れるといいですね。



よく噛める入れ歯について

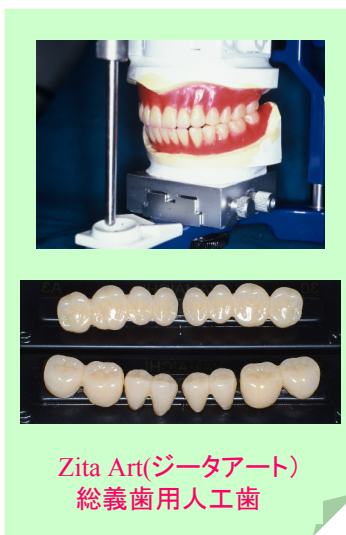
夏のオリンピックは終わりましたが、現在のアテネではパラリンピックが行われています。新聞では毎日、日本選手の活躍が報じられていますが、その中に義足の走り幅跳びの選手の記事が載っていました。

02年4月に病気で右足のひざから下を切断。落ち込む日が続いたが「そんな自分が嫌で、抜け出すにはスポーツしかない」と義足の技師の先生に誘われて、陸上を始めたそうです。初めは百メートルも走れなかったが03年には走り幅跳びで3m跳べるようになり、今回のパラリンピックでは3m95cmを跳び9位に入り、「アテネの風は気持ちよかった」と満足そうな笑顔が広がったそうです。

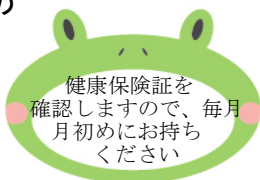
この度私達が新たに開発した総義歯用の人工歯(入れ歯の臼歯の部分)＝“ジーターアート”の特許が認められました。このジーターアートを使えば、もし入れ歯のオリンピックがあるとすれば金メダル間違いなしです。当診療所にも、様々な原因で歯を失ってうまく物を食べられなくなった患者様が来られます。どんな患者様でも何でもよく噛め、美味しく食事をする事ができ、満足していただけるような入れ歯が作れるよう、日々技術革新に努力しています。このたびの特許はその努力が認められた思いです。

さらに良いサービスができるよう努力して参りますのでこれからもよろしくお祈りします。

藤田 和也



Zita Art(ジーターアート) 総義歯用人工歯



健康保険証を確認しますので、毎月月初めにお持ちください

耳よりコーナー



10月から、新しく中沖先生がスタッフに加わります。中沖先生について、簡単ですが紹介します。

名前 中沖 泰三 (ナカオキ タイゾウ)
生年月日 S44年11月25日 (34歳)
出身校 大阪大学歯学部卒業 (H8年卒)
趣味 野球



先生からヒトコト

はやく、顔を覚えてもらえるよう頑張ります。



今年の台風はすごかったですね。今までニュースで見たことのない光景を実際に自分の眼で見ることになりました。瓦が風に吹き飛ばされるところ、カーポートの屋根のプラスチックの板がバリバリとはがれ、まるで紙のようにひらひら舞飛んで行く様などを、恐さ半分、興味半分といった感じで自宅の窓から眺めていました。



そうこうしているうちに停電したので、懐中電灯を探し断水に備えて水を溜め、一晩くらいは過ごせる程度の備えをしても読もうかと思ったのですが、部屋が薄暗く読書も進まず、結局ボーっとしているといつのまにか眠っていました。

水やガスは大丈夫だったので食事はできたのですが、本当に必要最低限のことしかできませんでした。台風の恐ろしさを知ると、日頃どれだけ電気に頼っているのかを実感した日でもありました。



※同封していますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成16年8月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には同封されていません。また患者様からのご意見・ご投稿を受け付けています。手紙・はがき・メールでどうぞ。メールアドレス yawaragi@fujita.gr.jp

平成16年 9月20日号
編集発行人 藤田 和也
編集者 山下 剛史